

# Weekly Report



## 名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日 13:00～14:00	会長	藤谷 猛
例会場	ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	深見 礼子
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	岩崎 幸弘



ロータリー：  
変化をもたらす

2017～2018年度名古屋アイリスRCのテーマ

共に活動し、共に奉仕し、  
共に頑張るアイリス

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

### 第231回 例会

2018年5月30日 13:00～

- 司 会 須賀祐介例会運営・司会委員
- 斉 唱 手に手つないで
- 出席報告 出席者数 28 名 / 43 名  
出席率 65.11 %  
前々回修正出席率 90.69 %
- ゲ ス ト 荒山裕行様
- ビジター 名誉会員 水野吉紹様

### ニコボックス

- 4/19 の合同チャリティゴルフ大会の御礼が大変遅くなり申し訳ありませんでした。お陰様で 70 万円送金させて頂きました。(水野吉紹)
- 荒山先生、お忙しい中お越し頂きありがとうございます。卓話を楽しみにしておりますので宜しくお願い致します。(藤谷猛会長)
- 荒山先生本日は卓話をありがとうございます。水野様ご出席ありがとうございます。(深見礼子幹事)
- 久しぶりに荒山先生と北の水野さんにお会いしました。特に荒山先生には卓話ありがとうございます。(安井戦略委員長)
- 本日、わたしの最愛の荒山先生が卓話を致します。寝ないで聞いて下さい。(荒山久美さん)
- 先日、責任感の強い幹部社員が過労で倒れてしまい、入院しておりました。本日から元気に出勤してくれ、感謝です。大事に至らず本当に良かったです。(深見和久)

### 会長挨拶

みなさん、こんにちは。

私たち名古屋アイリスロータリークラブは、皆さんご存知のように社会奉仕事業として、小児がんの子供たちへの支援を継続的に行っております。これまで小児がん患者へ書籍などの寄付や、お笑い芸人を呼んでの花見会などを継続的に行って参りました。本年度は少し方向を変え、名古屋小児がん基金の事務所移転に伴う事務用品や機器を、会員の皆様にお手伝い頂き、寄付とその設置作業を致しました。

名古屋小児がん基金の目指すところは3つあります。1番目は小児がんに対する新規診断法の開発や治療法を開発し安価に提供する。2番目は保険適用の無い薬剤を入手し、必要とする子供に投与



する。3番目は、発展途上国における小児がんの子供を支援する。この3つの目的に従い、既にCAR-T細胞療法という画期的な免疫療法の確立にも取り組んでおられます。この治療法は急性白血病の治療法ですが、おそらくほかのがんへの効果も期待できるそうです。この治療を提供できるようになれば、日本の白血病の子どもたちだけでなく、アジアの恵まれない子どもたちを治療することができるようになります。

私たちは、ここ数年に渡り、名大の小児がん病棟の子供たちと触れ合ってきました。みなさん、そこで何か気が付かれた事はありますか？気が付かれた方は、ちゃんと彼らに心を寄せている方かも知れません。

実は、大人たちの病棟と違い、小児がん病棟の子供たちの多くが、白血病であるという事です。わたしも常々不思議に感じていたのですが、ちょうど昨日、国立がんセンターが初めて集計を行った結果が発表されました。15歳から39歳の思春期・若年代でがんと診断される人の数が年間約2万1千人で、血液や精巣癌・卵巣がんといった生殖器のがんが多く、30歳を超えると乳がん・子宮頸がんの増加が目立つという事がわかりました。この事が明らかになるのは初めての事です。

15歳から19歳までの1位は白血病、2位は精巣癌・卵巣がん、3位はリンパ腫となっています。なんと子供たちの白血病・リンパ腫といった血液のがんは40%近くを占めていることがわかりました。やはり白血病やリンパ腫が多かったことが統計的にも裏付けられたようです。このあたりの治療法が確立できれば、小児がんは大幅に減らすことができ、子供たちの未来も明るいものになるでしょう。また、彼らの両親も若く経済的な力も年齢的にみれば小さいために負担が

大きくのしかかってくる事も問題です。精神的に 20 歳代の両親も多、精神的なサポートも重要と思われます。

医療者でない私たちには、何ができるのでしょうか？最近では、私のようなコンピュータ業界の人たちが画像処理や統計処理を駆使してがんを発見する手法などを開発し貢献しているケースが見られます。東京大学の研究者が作った画像診断ソフトは癌や脳梗塞を 9 割の精度で発見できるそうです。人工知能 AI と生物学の融合で診断を補助するという仕組みです。今や癌を撲滅するのは医療関係者だけでなく、あらゆる分野の人々の力が結集され始めているのです。

さて、小児がん患者への継続支援を社会奉仕事業として進めている私たちですが、次年度以降どのような形で何を目指し進んでゆくのでしょうか？まず、小児がんの子供たちに心を寄せ、彼らの事をしなくてはなりません。自分の所属するアイリスの社会奉仕の内容も知らず、いつ何が、どう行われたかも知らないようでは困ります。

私たち名古屋アイリスロータリークラブの力を結集し、小児がんの子供たち、その家族の皆さんに少しでも役に立てる事を、そして喜んで頂けることを真剣に考えましょう。

もし自分の子供が、家族が同じ病気になったら、傍観するような自分でいられるでしょうか？

会長挨拶を終わります。

## 卓話

- 京都産業大学経済学部客員教授  
荒山裕行先生  
本日のテーマ  
「改めて働き方改革について考える」

